

## 外環の計画のたたき台説明会

開催日	平成13年6月11日(月)	開始時間 19:00 終了時間 21:10
会場名	練馬区立上石神井小学校	
出席者人数	住民側 約320人 行政側 国土交通省 関東地方整備局 川崎国道工事事務所 笹森事務所長、伊藤調査第一課長 東京都 都市計画局 成田外かく環状道路担当部長、石橋外かく環状道路担当課長	
配布物	たたき台パンフレット、説明会コメントカード、お知らせ用紙	
議事次第	1.開会 2.説明者紹介 3.挨拶 4.説明(スライド) 5.補足説明 7.質疑応答	

### 議 事 録

: 質問 : 意見 : 回答

#### 男性(練馬区関町南1丁目):

35年以上経ってから、やるという前提で説明を受けても住民からみたら不可解である。住民投票による、建設賛成だとか反対だとか、あったのか。  
外環を作らなくても、圏央道を建設することで、都内の通過交通を減らすことができると思うのだが、どうしてできないのか。  
都内でも有数の緑地地帯であり、水源が恵まれているこの地域に対してどのように考えているのか。道路や都市行政に関する基本的な概念が欠如しているのではないかと思う。  
計画を作成する段階で様々な問題を明らかにし、我々が疑問を感じないような行政をやってほしい案をいきなり出して進めるのではなく、案をつくる前段階からご意見を聞いていこうと思っている。また、外環に関する住民投票は行ってない。  
首都圏のネットワークの構成上、3つの環状道路にはそれぞれの役割があり、外環についても、23区外縁部で自動車を分散したいと考えている  
生態系や水源への影響については、今後、現地調査を通じ、詳細なデータを収集した上で、検討していきたい。また、その結果は公表していきたい。  
その他、貴重なご意見として承る。

#### 男性(練馬区上石神井南):

アンケートの抽出率が違うというが、どう違うのかの説明がなければ、わからないのでは。  
住民との対話が整うまで外環計画は凍結されることになっているが、どのような理由で対話を始めようと思ったのか。  
言葉だけで道路の現状を説明されてもよくわからないため、データとして明確に提示した上で説明して欲しい。  
たたき台を住民に提示したのは、外環が必要だと考えているからではないのか。  
アンケートの抽出率は、外環近傍では高く、離れるにしたがい低くなるよう、地域ごとに1/20~1/17,000まで設定している。  
現在も凍結状態であると考えている。今後、たたき台や必要性について議論していく中で、話し得る条件についても考えていくつもりである  
必要性の議論を行うに当たっては、様々なデータを用意するつもりである。  
行政側としては、外環は必要であると考えている。今回のたたき台はあくまでも地下化の具体的イメージを提示したもので、必要性等具体的な議論は今後、行っていきたい。

#### 男性(練馬区上石神井1丁目):

情報の共有化を図ると言いつつも、どういう影響があるか調査すらされていないではないか。  
仮に道路が出来た場合、この地域にどんな影響が及ぼされるのかを示す情報を公開することが必要ではないか。排気塔ができた場合どういう影響が出るのかということの情報公開が必要。  
別ルートは考えなかったのか。  
環境への悪影響を示す情報はなにもないと言うことが。  
説明会をするのであれば、メリット、デメリットを提示し、それをもとに意見を求めることが大切な

のではないかと思う。

外環建設後の影響など幅広く議論できるような資料を提供して欲しい。

たたき台は外環地下化をイメージしてもらうために提示しているため、詳細な検討を現時点では実施していない。今後、現地調査を実施した後、周辺部への影響を明らかにしていく。

換気塔、換気施設への影響についても、現時点では決めることができない。今後、環境アセスメントを実施し、公表していきたい。

今の都市計画位置以外の地域では、土地利用が進んでいて建物が建てこんでいることや、堅牢建築物が多いことなどから、ルートを変更することは大変困難と考えている。

現時点では、調査を実施していないため、これ以上の資料は提示できない。今後、公表していく。

#### **男性（練馬区石神井）:**

これまでの行政側との話し合いの会で、我々の質問に対して何一つ答えてくれなかった。3回目の話し合いは役所の人が一方向的に話した。これでは話し合いにならない。なぜ答えなかったのか。

計画は凍結中であるのに、なぜ原点は昭和41年の都市計画決定時点であると言えるのか。

たたき台や必要性を検討する前に、なにもない状態から議論を始める必要があり、それを認めることが話し合いを始める前提になるのではないかと思う。

たたき台の中では外環の費用負担について一切触れられていないが、どのように考えているのか。

今更たたき台をだされる理由がわからない。

環境影響調査をするときに、住民の意見をしっかりと聞いてくれることを約束して欲しい。

過去3回の地元団体との話し合いは、1回目に地元の意見を聞き、2回目に可能な限り行政が回答を行った。3回目は各種制度についての説明を行った。

昭和41年の都市計画決定は、必ずしも民主的でないことは認めざるをえない。そこで今回は、都市計画手続きに入る前の段階から説明を行っている。その際、外環の必要性から議論することが原点であると考えている。

費用については、掘割構造で行っている外環千葉区間を例に挙げると、1kmで約1千億円かかっている。事業は、国が事業主体となり、日本道路公団が工事、管理を行うことになり、その負担は他の高速道路と同様料金徴収からほとんどまかなうことになる。

貴重なご意見として承る。

#### **女性（練馬区石神井4丁目）:**

環境の視点からみれば、車社会そのものについて見直す必要があるというのに、外環整備を進めようとするのはおかしいのではないかと思う。

原点という言葉は根本から住民と話し合いながらやっていくということで場合によってはそれをやめるとのことまで、そうでなければ立ち戻ったということにならない。

貴重なご意見として承る。

#### **男性（武蔵野市吉祥寺東町）:**

原点について住民と話し合うことには賛成であるが、その原点について不明確ではないかと思う。

自動車のために道路を建設するのは無駄であり、省エネルギーを目指すのであれば、鉄道輸送を優先するような政策をつくる必要がある。

国や都の財政が厳しい折、外環建設で借金が増えるのでは。借金を返すのは結局国民ではないか。

外環にインターチェンジを建設した場合、周辺の道路も拡張されることになり、立ち退きを強要される住民が増えてしまうのではないか。

行政責任者、専門家、有識者との懇談会を設置して欲しい。

都市基盤整備に必要なものはやらなくてはならない。赤字財政ということだが、建設資金は利用者の料金を充てる。

質問の大部分は必要性があるのかということだと思うが、データを揃えてそれに基づいて必要性から議論させていただきたい。

懇談会についてはそのようなご意見があったと性格に伝えたい。

その他、貴重なご意見として承る。

#### **女性（練馬区関町南1丁目）:**

利用者が建設費を負担すると言うが、これまで道路を建設して行政の楽観的な観測どおりになった試

しがないと思う。

計画決定までの経緯や環境等の問題を考えると、外環を作って欲しいとは思わないし、作っても役に立たないのではないかと思う。

貴重なご意見として承る。

**女性（練馬区石神井）:**

水が豊富に湧くところにルートが決められており、地盤の面からするとかなり心配であるのだが、交通量に耐え得るトンネルや道路が建設できるのか。

環 8 の下にそのまま作れないのか。

たたき台では都市計画決定されたルートにこだわっているように思われるが、代替案として検討しようと思っているルートは存在しないのかと思う。開発するには自然との共存を考える必要があるので、いろいろな代替案を検討して欲しい。

地下水、湧水への影響については、現地調査を実施し、詳細なデータを得たのち検討する。収集したデータおよびその対策については公表する

環状 8 号線の地下に外環を整備することは、幅員の関係、沿道の堅牢建築物の立ち退き、ジャンクションやインターチェンジの設置等を考慮すると非常に困難である。

その他、貴重なご意見として承る。

**男性（練馬区石神井台 2 丁目）:**

まだみんなで集まって話をしていく段階ではないと思う。

貴重なご意見として承る。

**女性（練馬区関町）:**

我々が納得できない道路建設を、どうして我々の税金で進めていかなければならないのかと思う。

貴重なご意見として承る。

**女性（練馬区上石神井 4 丁目）:**

原点に戻ると言うことは、道路の必要性について議論するところから始めなければならない。

住民との話し合いを始めたいと言うのであれば、住民の意見を聞いて、それを基本にしてたたき台を作って欲しい。

年々大気環境が悪くなってきているという状況をも考慮して、道路を原点から見直して欲しい。

住民の意見を聞くのなら、会の進め方自体も考えて欲しい。

貴重なご意見として承る。

**男性（練馬区上石神井 3 丁目）:**

ルートとして指定されているところを実際に歩いて確認したことはあるのか。

住民は地下化が良いと主張したわけではないのに、たたき台では地下化の案を示しているが、これは納得できない。

外環の代償としたまちづくりを住民は望んでいない。

行政側も現地を実際に訪れており、状況は把握している

貴重なご意見として承る。

**男性（練馬区上石神井 4 丁目）:**

具体的なことは調査後に示すと言っているが、地下を走っているその他の道路の事例さえたたき台で触れていないことは不満であるが、どうか。

地下に整備された道路の事例やデータについては、今後、必要性の議論を行う際に出していく